

From: apoio brasil apoio brasil  
 To: 難波さん  
 Sent: Saturday, August 27, 2011 6:10 PM  
 Subject: アポーヨミエ被災地支援



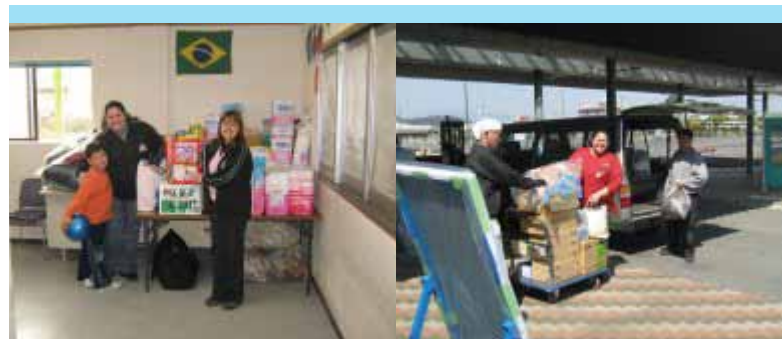
難波様

お返事を有難うございました。海外日系会には是非行きたく思っております。出来ましたらその折に難波様とお会い出来ればと願っております。

私どもはブラジル人学校を三重で運営しております。色々課題も多く、難波様が経営されておられますアカデミーの事をHPで拝見し是非ともご意見をお聞きしたく思っております。

また難波様が被災地支援を行っておられる事を、佐々木先輩よりお聞きしました。私どもの学校も既に2回三重県を通じて支援物資を送っております。今回は本校の夏祭りにバザーを催し、その売上金1万9千円を義援金として送る事を考えておりました。ただ、協力していただいた保護者には目に見える形が最も良いとも考えております。そこで、難波様の支援活動の様子などをメールで送って頂ければ、保護者も喜んでもらえると考えました。誠に勝手な事であるとは存じますが何卒ご了承のほどをお願い申し上げます。送金に関しましては難波様のご指定の方法にてお送りしたいと思っております。大変勝手、失礼な申し出ではありますがよろしくお願いを申しあげます。

アポーヨミエ



支援物資

三重県を通して被災地へ



市教育委員会有志の模擬店

市教育委員会有志の模擬店



本校全景

夏祭りの準備をする本校の職員

Dear Michi

先週末、モントリオールに行ってきました。カナダに来て初めて、東京にいた時と同じ、主人と二人だけの時間をゆっくり過ごしました。建物も、街並みも、歩く人々も個性的なこの街は、以前から大好きな街で、ここを歩くと今も昔と同じ様に、心がうきうき、元気になる街です。沢山 笑顔で時間をすごした後は、なんだか気持ちが少しだけシャキッと強くなったような気がします。 笑顔でいるって大事だなんて思いました。ちよびりくじけそうな時も、落ち込んだ時も、腹が立つ事があった時も。心とはちよびり裏腹でも、口をキュッと、口角を上げて、ちよびり笑顔。そして、大丈夫。って言えたら、なんだかそれだけでも自信が出て来るような気がします。

矢野 恵  
 (元CAS講師)

From Canada



Megumi Yano

兄妹でカナダ短期留学

塚本一夫



妹は留学願望があったのですが、なかなか行けないうまくない状態が続いていました。兄として背中を押して留学の手助けをしようと思い、カナディアンアカデミーの難波様に相談し、6月下旬から1週間ではありますが兄妹留学が実現しました。ステイ先はサレー市というバンクーバーの郊外にあり、ロバート家族は大学帯で大学院生～中学生まで子供が4人おり、それぞれ部屋を持っています。さらに、韓国からの留学生の男の子がいて、私と妹が別々の部屋を与えられたのですから、日本じゃちょっと考えられない広さですね。ロバートさんは、親日の方で、日本には何度も行ったことがあるらしく、非常に親切に頂きました。東日本大震災があっても、被災された方の秩序が素晴らしいと言っておりました。

学校はバンクーバー市内にあり、兄妹で事前に別のクラスになるよう配慮してもらいました。私のクラスでは11人中8人が日本人、3人が韓国人でした。学校内では英語以外禁止ですので、休み時間に日本のローカルな話を日本人と英語で話しているのは変な感じでした。授業内容も先生が熱心で、教え方にゲーム的な要素を取り入れるなど、工夫しており飽きなかったです。この学校は日本人のスタッフがいるので安心でした。

留学は問題なく終わり、妹も留学を楽しんでいたようでしたが、やはり1週間しかいられなかったのを残念がっていました。私もこういったきっかけがなければ留学しなかったでしょう



し、きっかけを与えてくれて妹に感謝しています。海外の雰囲気を味わうことができ、海外への壁が低くなったのを感じます。最後に、この留学について何度も相談に乗っていただいた難波様、妹の条件に合うステイ先をギリギリまで探して頂いたトワイライトトラベラー、ロバート御夫妻に深く感謝いたします。



Kingdom of Cambodia



カンボジアから

Sunday, October 02, 2011 プチュンバンのお参り

26日(月) プチュンバンの祭日の初日、大家さんに誘われて、お寺にお参りに行きました。お寺に行くと、クメール正月の時と同じように、まず、お線香に火をつけ、お線香を立てる所に1本1本立てていきます。

このお線香を立てるところはお堂の外にあるので、お堂の中にはお線香の煙は入ってきません。

次に、お賽銭入れが5個並んでいるところで、その一つ一つにお金を入れます。お賽銭を入れた後、一家族ごとにまとまってお坊さんの前に座り、持ってきたご飯、お米、おかず、飲み物、果物、お菓子などを

おいて、お清め(?)のお経をあげてもらいます。それが済んでから、ご飯はご飯を入れる器に(10個以上ありました)スプーンで少しずつ入れていきました。

お米もお米を入れる器に(これは5こでした)入れていきました。このお米を入れる器には、お米のほかに、お金を入れている人もいました。おかずは、係の女の人の所に、持って行って渡します。飲み物、果物など、それぞれ違う場所において行きました。そのあと、お経の始まる時間まで、しばらく時間があるので、皆は、床に座って、お喋りをして待っていました。クメールの人たちは、男も女も横座りしますが、私はできないので、あぐらをかいていました。しばらくしてお経が始まると、皆は手を合わせ、一緒にお経を唱えていました。日本のお経のリズムと、よく似ているように感じました。30分位あったでしょうか、お経が終わると、お坊さんたち(30人位)の食事が始まりました。

この間、来ている人は、檀家の代表の人のお経(?)をあげる声に合わせて、もうしばらくお経をあげていました。それが済むと、来ている人たち(檀家の人)にも、食事がだされます。食事をしないで、帰って行く人もいました。支度をするのは、檀家や係の女の人たちです。おかずは、魚、野菜、肉など、普段のクメールの料理と同じです。家族中心のグループごとに食事をし、食べ終わると、それぞれ家族ごとに帰って行きました。

お寺で食事をしたのは初めてで、良い経験をしてきました。



面矢忠彦

Congratulations!!

- \* 立木弘賢 David Game College入学、IELTS 6取得
- \* 高村 弦 Bellerbys College入学、IELTS 6取得
- \* 藤野智気 St.Bede's Year 8進級
- \* 島村有郁樹 St.Bede's Year 8終了。
- \* 難波三津子 エガリテ大手前市民大学、教授に就任
- \* 木部(旧岡部) 香織 結婚
- \* 坂本(旧田中) 直子 結婚